

令和 4 年 1 月 20 日
室 蘭 地 方 気 象 台

週間天気予報に係る情報提供の変更について

日頃から、気象庁の業務にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、当庁では、全国・地方・都府県等単位で発表する週間天気予報のうち、気象庁ホームページ更新(令和3年2月)により府県週間天気予報の地図形式での表示が加わり、府県週間天気予報を広範囲に一目で確認できるようになりました。

また、予報の考え方等を解説する週間天気予報解説資料を令和3年12月15日からより分かりやすい内容へと改善しました。

これらを踏まえて、文章のみで発表する全般週間天気予報及び地方週間天気予報は以下のタイミングで終了します。

各種資料の変更イメージは別紙を参照ください。

《全国・地方単位の週間天気予報(文章形式)》

○全般週間天気予報

(令和4年1月31日提供終了)

<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>



○地方週間天気予報

(令和5年3月31日提供終了)

https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/#area_type=offices&area_code=015000



週間天気予報解説資料

(令和3年12月15日内容改善)

https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/jishin/kaisetsu_shukan_latest.pdf



本件担当

防災気象官(佐々木[ささき])

防災管理官(今野[いまの])

電話 0143-22-4249

Fax 0143-22-2601

全般・地方週間天気予報、解説資料の移行イメージ

別紙

全般週間天気予報

全般週間天気予報
2021年12月14日10時54分 気象庁 発表

予報期間 12月15日から12月21日まで

北日本と東日本から西日本の地域は、雪または雨の日が多い見込みです。東日本から西日本の太平洋側は、気圧の谷や寒気の影響で雨の日が多い見込みです。なお、17日から18日頃は、北日本から西日本の日本海側を中心に荒れた天気や大荒れとなるおそれがあり、大荒れとなる所もあるでしょう。沖縄・奄美は、期間のはじめは高気圧に覆われておおむね晴れますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、雨の降る所がある見込みです。

最高気温と最低気温はともに、全国的に平年並か平年より高く、期間のはじめは平年よりかなり高い所もありますが、中頃は平年より低い日があり、平年よりかなり低い所もあるでしょう。

文字情報のみ

地方週間天気予報

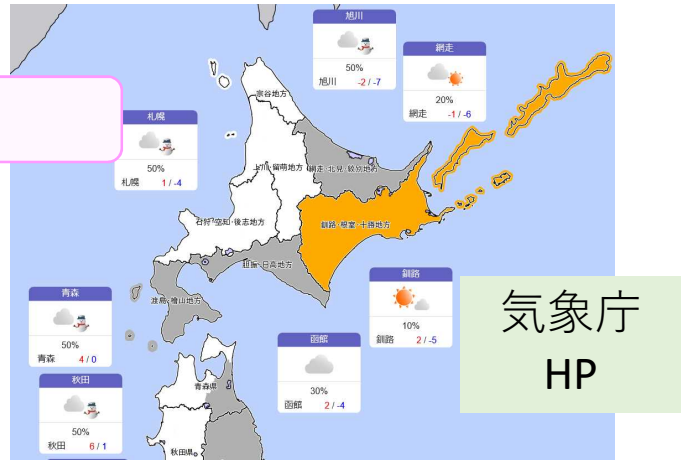
北海道地方週間天気予報
2021年12月14日10時34分 札幌管区気象台 発表

予報期間 12月15日から12月21日まで

向こう一週間は、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。海は、波の高い日が多く、期間のはじめは平年よりかなり高い所もありますが、期間の後半は平年並か平年より低いでしょう。

文字情報のみ

新：平面図化した週間天気予報



図情報

- ・全国、地方の予報を的確に認識可能
- ・目的に応じた地域を確認可能

週間天気予報解説資料

週間天気予報解説資料
2021年12月14日10時00分 発表
気象庁

予報期間 12月15日から12月21日まで

気象の専門家向けの解説を文章にしたもの

文字情報+図情報
防災事項等
要点を押さえた解説へ

新：週間天気予報解説資料（イメージ）

週間天気予報解説資料
2021年10月29日10時00分発表
気象庁

予報期間 10月30日から12月6日まで

◆今期間のポイント
<主要じょう乱の概要>
<防災事項>

気象の専門家以外にも分かりやすい概要を追加
専門家向け部分も図の活用等にて改善

より端的で分かりやすい解説を利用可能